

たけうち えいすけ  
竹内 英祐さん（広島市西区）

2008年度4次隊 青年海外協力隊

派遣国：ウガンダ 職種：土木建築

2021年4月11日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 現地調達で道路を修繕

2011年3月11日。大震災が東日本を襲ったその日、東アフリカのウガンダで青年海外協力隊の任期を終えようとしていた。津波や原発事故の深刻な被害、停電や物資不足のニュースが報じられる。現地の同僚から「当面ここで生活すればいい」と引き留められながら帰国した私の目に映ったのは、ウガンダよりも明るい夜景と十分な物資だった。日本の豊かさを目の当たりにした。

09年3月に土木隊員として赴任。首都カンパラの非政府組織（NGO）に籍を置き、地方都市に派遣されて隊員仲間と連携し、村と村をつなぐ幹線道路の修繕を繰り返した。重機も資材もない中、現地で調達できるものを使い

住民と汗を流す。そんな毎日だった。専門性を生かした活動の傍ら同僚に習った片言の現地語を駆使し、学校で出前授業をしたり、ラジオに出演したり。単調になりがちな日々の中に楽しみを見つけ、自分の中に少しずつ新しいことを取り入れていった。

帰国後は道路関係の会社に就職。全国各地で道路の調査を行っている。海外出張もある。職場には、JICAが招いたアフリカの方々が研修に来ることもある。言語や肌の色が違うというだけで身構えてしまう同僚も多い中、どんな土地でも、相手が何人かにかかわらず、ごく自然に接している自分にふと気づく。

場所や相手が変わっても想定外のことが起きても臨機応変に対応できる。物が手に入りづらいアフリカで人々と協力して活動した2年間の経験は、どんなことも「何とかできる」という自信をつけさせてくれた。



地方の住民と取り組んだ道路の補修工事